

# 戦闘車 沖縄本島初の公道走行

自衛隊統合演習 中城湾港では市民抗議

自衛隊最大規模の実動演習として10日から始まった「自衛隊統合演習」の一環で、那覇市では陸上自衛隊の16式機動戦闘車(MCV)が11日、初めて沖縄本島の公道を走行しました。沖縄県では自衛隊が民間の港や船舶を用いて県外からの部隊を機動的に展開する訓練などが行われました。

MCVを北海道から那覇空港に輸送。そのとCO2輸送機が10日、MCVは100mm砲を搭載し、戦車と同程度の火力を持つ一方、キャタピラーハブで走行します。

MCVは100mm砲を搭載し、戦車と同程度の火力を持つ一方、キャタピラーハブで走行します。MCVは100mm砲を搭載し、戦車と同程度の火力を持つ一方、キャタピラーハブで走行します。

MCVは100mm砲を搭載し、戦車と同程度の火力を持つ一方、キャタピラーハブで走行します。MCVは100mm砲を搭載し、戦車と同程度の火力を持つ一方、キャタピラーハブで走行します。

MCVは100mm砲を搭載し、戦車と同程度の火力を持つ一方、キャタピラーハブで走行します。MCVは100mm砲を搭載し、戦車と同程度の火力を持つ一方、キャタピラーハブで走行します。

MCVは100mm砲を搭載し、戦車と同程度の火力を持つ一方、キャタピラーハブで走行します。MCVは100mm砲を搭載し、戦車と同程度の火力を持つ一方、キャタピラーハブで走行します。

MCVは100mm砲を搭載し、戦車と同程度の火力を持つ一方、キャタピラーハブで走行します。MCVは100mm砲を搭載し、戦車と同程度の火力を持つ一方、キャタピラーハブで走行します。



公道を横切り、陸上自衛隊那覇駐屯地に移動する16式機動戦闘車=11日午前0時56分、那覇市